

「環境に関連した書籍等の活用の取り組み」についてのご意見・ご感想 一覧表

区分	「環境に関連した書籍等の活用の取り組み」についてのご意見・ご感想
<p style="text-align: center;">ー し じ も 広 場</p>	<p>環境に関する絵本や図鑑を図書コーナーの一角に設けて、いつでも手に取ることができるようにした。早速読み聞かせをしている親子がいたり、まとめて絵本を借りていく姿が見られた。 スタッフによる歌や手遊びの時間に、「6月は環境月間です！」と参加された親子さんにお伝えし、活動の中で自然や動物、お天気に関する本を読んだり、動物の体遊びを取り入れるなどした。 街中でかえる・かたつむり・ほたるなどを見る機会が少なく、見たことがない子どもが増えているように感じる。「環境問題」となると乳幼児にはとても難しいが、子どもたちが生き物や自然に関する本や活動を通して少しずつ環境についても関心が高まるように今後も活動を継続したい。</p>
<p style="text-align: center;">公 立 保 育 園</p>	<p>季節に合った絵本、子ども達の興味のある絵本、シリーズの絵本等を読むことで、その後も自由に手に取り絵本に親しむ姿が見られた。 言葉の繰り返しのある絵本を何度も読むことで、発語を促したり、遊びにつながったりと、未満児のクラスでも楽しんでいる。</p> <p>栽培物や飼育している生き物のお世話をしているので、より興味・関心を持って読み聞かせを聞き、生態を把握することに役立っていた。 どろんこ遊びで絵本を真似ながら泥団子を作っていた。 もったいないばあさんシリーズは、好きな子が多く何回読んでも集中して見て、理解していた。 水や紙を大切にすることへの意識につながった。 コップや水たまりに物や人がいろいろな形で映ることを知り興味を持つきっかけになった。 絵本を通じて環境について考える機会を今後も大切にしていきたい。</p> <p>子ども達が日常の中で、絵本で見たことを思い出して、水の出っぱなしや食べ残しがある時に、「もったいない」と話したり、環境を大切にする会話をした。水の循環について知ると、蛇口から出てくる水を細目にして使ったり「もったいないよ」という言葉が聞かれるようになった。 絵本や紙芝居を用いて活動に取り入れることで環境について分かりやすく理解できると感じた。</p> <p>環境関連の絵本を紹介することで興味をもって楽しみながら、見て聞いていた。 「はらぺこあおむし」では、さなぎや蝶になるところが気に入り、喜んだり、手で蝶を作ったり真似をして見ていた。 園で野菜を育てていることもあり、手遊びも取り入れながら野菜に興味をもってくれた。 泥だんごと泥んこの時期が重なったため興味をもち、絵本の内容と同じことをしてみようとする姿があった。環境(自然)に対する興味、不思議さ、面白さ感じる事ができた。 「命はめぐる」の絵本から食物連鎖に興味をもつ子が多くいた。命をもらい食事をしていることを知り「いただきます」の挨拶を進んでするようになり、蚕の飼育では大切に世話をする姿が見られた。 環境に関する本を読むことで子ども自身がごみを減らし、廃材で物が作れるなど学ぶ機会になった。</p> <p>「もったいないばあさん」を読んだ後は、「もったいないよ！」と言う子が多く、水道の水を止めたり、紙を描くところがなくなるくらい全部描いたり、裏まで紙を使用する姿が見られた。また、お弁当箱のごはんを一粒残さず食べたりする子どもの姿があった。 取り組みがあることで、意識して本を選んで読むことができた。</p>

「環境に関連した書籍等の活用の取り組み」についてのご意見・ご感想 一覧表

公立 保育園	<p>水の絵本は内容の理解は難しいようではあったが、水を大切にしようという気持ちにはつながった。 紙芝居から、壊れた玩具も直せば使えることもあるということ、子ども達を知ることができた。 あおむしを園庭のプランターで見て「はらぺこあおむし」で見たのと一緒だね」と、子ども達の生き物への興味が高まった。</p>
	<p>普段、雑になってしまっているゴミの分別を改めて考えることができた。子ども達が分別しやすいように、環境を整えることができた。 紙を大切に使う姿が見られた。 水道の水を出しっぱなしにしないで、意識して止める姿が見られた。</p>
	<p>子どもが絵本を読んだ後、「ごみはゴミ箱に捨てる」と言いながらごみを捨てる子の姿があった。絵本を通して再確認できたようで良かった。 子どもたちから遊んでいる川にゴミが落ちていたら嫌だという気持ちになるという意見が聞かれたことが良かった。 年に一度、環境月間に合わせて、保育士が環境について考えたり意識して保育に取り入れたりする良い機会だと感じた。</p>
	<p>年少、年中、年長の3年齢で読み聞かせをする。どの年齢も「ハルの日」は、興味をもって聞く姿があった。</p>
	<p>紙芝居を読んだ後に話をすると「ゴミを山や川に捨てない」「水や電気を大切に使う」など環境について子ども達なりに理解した部分があるので、まずは大人が見本となるように日頃から行動を心掛けていく。</p>
	<p>環境について、子ども達と一緒に考える良い機会になった。 本の読み聞かせだけでなく、水を大切に使うことを一緒に考えたり、手を洗う時どのくらい水を使っているのかの実験をしたりする中で、子どもから「(水や物を)たいせつにつかおう」という声が聞かれるようになった。</p>
	<p>幼児期から、自然やSDGsに繋がるような内容の物語に触れられるようにしていくことの大切さを改めて感じた。絵本を通して楽しみながら知ることができる良い機会となった。 環境問題の中では、ごみが題材のものが身近で分かりやすくよく見えていた。 環境衛生についての絵本は内容がわかりやすく読んだ後、子どもから感想が多く聞かれた。 保育士が思っていたよりも子どもたちにとって環境は身近なもので、知っていることが沢山あるのだと感じた。</p>
<p>①はらぺこあおむし 歌に合わせてページをめくることを楽しんで見ていた。穴があいている所に指を入れたり、ちょうちょになった所で拍手をしたり、食べ物・虫に興味をもつきっかけになったと感じた。 ②ダンゴムシ 絵本を見ながら、「これ(ダンゴムシ)外にいたね!」「はっぱ食べているね」と気付きが沢山あり、また外で見つけないという気持ちにつながって良かった。 ③もったいないばあさん 食事の食べ残しが出てくるなど身近なことが多いので、とてもよく見ていた。「みんなはもったいないことしてない?」と聞くと「してない」と自分のことを振り返っていた。 もったいないばあさんの音頭に合わせて本を読んだ。水が出てる、いけないんだよね。ごはん粒も食べるんだよね、など思ったことを言い合っていた。 ④もったいないばあさんいただきます 野菜、魚、肉、果物、食べ物、は誰かが大切に育てたり作ったりしたものだ」と改めて話すと、真剣に聞いていた。</p>	

「環境に関連した書籍等の活用の取り組み」についてのご意見・ご感想 一覧表

公立 保育園	<p>園内に環境図書コーナーを設置し、貸し出ししていただいた絵本を子ども達を読めるようにした。子ども達は自分の興味のある本を選び、じっくりと読んでいて、とても良い取り組みだと思った。 絵本の読み聞かせを通して、生き物に興味関心を持つ子が増え、初めて知る喜びや驚きを感じたり、嬉しそうに虫を捕まえる姿が見られ良かった。</p>
	<p>とても興味深そうに見ていた。水を大切に使うことを話すと「水を止めて手を洗ったよ」など意識して水を使う姿が見られた。 この時期は水を使った遊びが多いので水についての絵本を読むことで水への興味につながられた。水道から出る水はどのように流れているのか知ることができた。「こんなにたくさん水の通り道があるんだ」と興味を持つ姿が見られた。</p>
	<p>綺麗だなと思い摘んだ草花、捕まえた虫などにも命があり誰かが大切にしているかもしれないとわかった。部屋に迷い込んだアリをつぶそうとした友達に、「命だよ！！かわいそう！」と自然に言葉が出た。 給食の配膳の時に、メニューを見て自分の食べれる量を言うようになってきた。「いっぱいにして」「少しにして」など。 環境の絵本を読むだけで子どもたちが、すぐに感じ動くことに改めて、感動した。</p>
	<p>日頃から散歩中に落ちているゴミを見て「ゴミ箱に捨てなきゃだめだよ」とゴミを気にする様子があったが、絵本を読むことでゴミの分別の大切さやリサイクルについても知る良い機会となった。また、ゴミ拾い散歩にも繋がった。 動物のうんちの形や大きさに興味を持ち、夢中になっていた。「どうして地球はウンチだらけにならないの？」と問いかけると「動物が食べて栄養にしてるから」「水に溶けて川や海に流れるから」等絵本の内容をよく理解している姿があり、自分たちのウンチがどうなるかという興味にもつながった。</p>
	<p>環境図書の取り組みとして意識的に取り組もうとする中で、普段から親しんでいる絵本も環境に関するものが多かったことに改めて気付くことができた。 絵本を通して、「水道の水流っぱなしはもったいないもんね。」等、子どもたちで気付いて行動する子どもが多く見られるようになった。</p>
公立 認定 こども 園	<p>幼児、未満児とそれぞれの年齢にあった、絵本の読み聞かせを行い様々な反応が見られた。 <幼児> 「ツティーのうんちはどこにいった？」では「うんち」のフレーズに反応し、うんちが森の中でどのようにになっていくか興味津々なって見る。うんちを食べる虫がいることに驚いていた。 「みずだらけ」の絵本からは絵を見て体の仕組みについて知り、積極的に水分補給をする姿が見られた。 <未満児> 絵本と同じように経験したり(「あめふりさんぽ」)動物の鳴き声や動きを真似したり(「パンダくんパンダくんなにみているの?」)と実際に体験し、絵本の世界を楽しんでいるようであった。</p>
私立 保育園	<p>日々、子ども達に環境を題材にした絵本、紙芝居の読み聞かせを行っています。今後も読み聞かせを行う中で、子ども達が環境に対する興味や関心を持てるようにしていきたいと思えます。</p>
	<p>環境図書でおすすめのを支給していただけたらとても嬉しいです</p>

「環境に関連した書籍等の活用の取り組み」についてのご意見・ご感想 一覧表

<p>私立 保育園</p>	<p>自然についての本を中心に各クラスで読み聞かせの時間をとったり、コーナーとして本の紹介をしました。 年長児が5月ごろから廃材を利用したロボット作りを行っており、その活動のこの取り組みの1つになっていたと感じました。各クラスの担任の先生方にも本を選んで子どもたちに読むことで環境について一緒に考えることができる良い機会となっていました。</p>
<p>私立 幼稚園</p>	<p>今回は報告回数ランキングを中心に、棚にコーナーを設置し、子ども達がいつでも読めるような環境を作りました。 自然シリーズやもったいないばあさんシリーズは小さい子ども達でも楽しめ、分かりやすかったようです。 環境月間機関が終わっても、このまま設置・読み聞かせを継続して環境について考え取り組めるようにしていきたいと思います。</p> <p>自然だけでなくすべての環境にふれさせることで、子どもなりに気づくことが出来、さらにふかめることができた。又、とても興味を持つことが出来きっかけを作ってあげるのも大事だと感じた。</p>
<p>私立 認定 こども 園</p>	<p>環境に関連図書を読むにあたり、おすすめ図書を教えてもらっているのはありがたいです。ただ、園にない本ばかりでしたので、もう少し身近な絵本でも紹介してもらえると、コーナー作りの参考になります。よろしくお願いします。</p> <p>「ちいさなくも」では、様々な形に変化する雲に興味津々で読み聞かせ中にも何の形か当てようとする言葉が飛び交い、外遊びでも空を見て何に見えるか考え遊ぶ姿もあった。 「ステラとカモメとプラスチック」では、身近な自然や環境のお話を真剣な表情で主人公の気持ちになりながら、絵本を読んでいた。その姿をお便りに載せたところ、その絵本をおうちでも読んだ家庭もあり、保護者の方から「子どもと環境のことを考えるいい機会になった」と沢山の感想をいただいた。 本棚とは別で子どもの視界に入りやすい場所にコーナーを設置したことで普段選ばない本にも興味を持つ子もいて、興味や知識の広がりにもつながりそうだと感じた。</p> <p>絵本の読み聞かせ以外での他園の取り組みなどを知りたいです。</p> <p>保育者も子どもたちと環境を振り返る良い機会となった。また、環境といっても幅広く、どこまでを環境として切り取ってよいのか難しく、考えさせられるきっかけとなった。今後も図書コーナーでの環境絵本の設置、各クラスでの読み聞かせなど、子どもたちの興味に合わせながら環境について触れていきたい。</p> <p>図書コーナーから場所を移してコーナーを作るのは環境的に難しかったので、元々ある図書コーナーにチェックリストを貼り出し(絵本の題名記載)、読んだ絵本に印を付けてもらうようにした。</p>
<p>公立 保育園 (指定 管理 運営 委託)</p>	<p>こんちゅうがでてくるもの、どろんこの話は今まさに子ども達の活動であり、何回読んでも楽しそうにみる姿があり良かった。</p>
<p>公民館・ 交流 センター</p>	<p>環境図書コーナーを作り、来館者に興味を持っていただいた。 コーナー設置当初は、公共料金の値上げのニュース等あり、来館者が設置コーナーを見て環境について話題にしていたり、展示図書を手に取ったりして、環境について関心を持ってくださっていた。</p> <p>昨年よりも目立つ場所にコーナーを設けましたが、あまり関心を惹くことができませんでした。展示だけでなく、何かイベントがあると良いと感じました。</p>

「環境に関連した書籍等の活用の取り組み」についてのご意見・ご感想 一覧表

	<p>図書コーナーの設置に関しては、もう少し手に取りやすいように工夫をしたかった。</p>
	<p>絵本等を通して、幼児期から環境問題に関心を持てるように、来年度以降もこの時期にコーナーを設置して活用したい。</p>
	<p>大型絵本で読み聞かせしたので、わかりやすかった。小さな年齢のお子さんが多かったが、親子で一緒に聞くことができ、お弁当のおかずを指さして興味をみせていた。子供の環境学習の一助になる学びができたと思う。</p>
	<p>普段、貸出の少ない本も「環境関連図書」のコーナーを設置したことで、貸出が増えて環境について関心を持って頂く良い機会になりました。</p>
	<p>次世代を担う子供達に環境に関する本を読み聞かせることにより、エンゼルクラブに出席されている保護者にも環境保全の大切さを学ぶ機会となり、とても良い講座になった。</p>
	<p>環境図書コーナーの展示はしたが、反応はうすい。</p>
公民館・交流センター	<p>当交流センターは、子供の利用がほとんどないため、環境に関する図書でも絵本よりも大人向けを充実させたほうが関心を持ってもらいやすいのではないかと思います(南部図書館からの配本も全くありません)。</p>
	<p>当センターは南部図書館が隣接の為館内常設の図書コーナーがないという特殊な環境にある。 環境月間に当たり市民講座「子育てひろば」の開催日に合わせて展示を企画。5/18と6/15の2回、講座の会場で未就園児対象に環境に繋がる絵本や動物の図鑑などをメインに展示。読み聞かせは講座の時間設定の関係でできなかったため次年度は計画的に企画したい。 5/16～5/23までは2階ラウンジに展示コーナーを作り来館者が気軽に手に取る場を設けた。 環境に関する図書を選ぶのが難しいので次回は環境保全温暖化対策課の貸し出しを利用し「環境関連図書読み聞かせランキング」や「おすすめ図書」の展示をし啓発に繋げたい。</p>
	<p>当館は子どもの来館が少ないため、小中学生に環境関連図書コーナーを見てもらうことがほぼないに等しい。 また、環境月間期間中は乳幼児向けの講座しか開催していないため、図書の選定に苦慮している。</p>
	<p>親子学級の中で読み聞かせを行った。1～2歳の子供が多いため長時間の集中は出来ないが、絵を見ながら興味深そうに聞いていた様子であった。</p>
	<p>環境月間にちなんだ絵本や図鑑等でコーナーを作り設置した。本の貸し借りで来館した折に、絵本を手に取る方もいて、身近な環境への関心の喚起につなげることができた。</p>
	<p>6月の環境月間については、担当職員の急遽退職により、事業の対応ができませんでした。</p>
図書館	<p>当館における読み聞かせへの参加者は、入園前の乳幼児期の子供たちが多いため、環境問題に特化した選書は難しい面があります。 なお、南部図書館は6/20から7/4まで、蔵書整理のため長期休館していますので、環境関連図書コーナーは、7月末日まで延長して展示を続けます。</p>